

③日中技能者交流センター (200 ページ)

1986年に設立された日中技能者交流センターは、中国職工対外交流センター及び中国国家人力資源社会保障部との提携により、毎年中国各地から派遣される数百名にのぼる研修生を受け入れ、中国に日本語教師を派遣し、様々な視察交流を組織し、中国の近代化建設に必要とされる人材の育成のために大きく寄与している。

今の研修形態は著者が経験した理論研修と実習を主とする1980年代の研修方式からすでに生産現場での作業実践へと大きく脱皮したが、多くの中国人にとって日本研修が腕を磨くエリートコースの土俵にほかならぬ、帰国後かなり多くの人が専門分野のプロとなり、栄転出世をとげた人も少なくない。

当該センターの榎枝元文前任理事長は元日本労働組合総評議会の議長をつとめたことがあり、現役の人見一夫理事長、離任された中川豊、田井二郎氏などはいずれも組合幹部出身。彼らはかつて時代の風雲児として、労働運動のリーダ役を果たしていたが、定年後のエネルギーを中国との交流活動に傾けている。

(一部省略)

中国との友好関係を大切にする方々で立ち上げたこうした団体は他にもたくさん機能されており、その中で祖国中国のために仕事をしている中国人も数え切れないほど活躍している。紙面の都合で詳しい紹介を割愛させていただく。